三原の魅力を広めよう！ 地域資源の効果的な活用方法について

地域資源の「たから」

2014年9月29日から2015年3月28日まで放送された連続テレビドラマ「マッサン」。大正時代のウィスキー作りの話で竹鶴政孝の生家でもある竹鶴酒造（広島県竹原市）でロケが行なわれました。また、ウィスキー評論会の「ワールド・ウィスキー・アワード」において「竹鶴17年ピュアモルト」が「世界最高賞」を獲得し「マッサンウィスキー世界一」と紹介されました。このようなことから竹原市では観光客が増えています。樫野氏はこのような流行は一過性で終わらすのではなく地域の「たから」として大切に育むことが重要だといわれます。マッサンの宣伝を換算すると約10億円の効果があり、上手くまちのイメージを作れれば20年から30年の価値が生まれます。

一時の成功から地域の「たから」に飽きてしまうのは地元の人たちといわれました。地元の人たちは地域の「たから」の魅力に気付かず次は何をしようと探し始めますが、全国的に見ればまだまだ観光に来ていないひとの方が多いのです。次を探すのではなく柱として構築された地域の「たから」に少しずつコンテンツを継ぎ足してゆき魅力を磨き続けることが新たな観光客を増やす近道となります。この好例が東京ディズニーランドです。毎年新たな継ぎ足しをして「たから」を磨き続け観光客を増やす工夫をしています。三原では「たから」を磨いているでしょうか。

まちのエンジン

■まちのエンジンとは

まちのエンジンは「ひと」です。ひとがいなければまちは動きません。そしてまちを元気にするエンジンとは「ひとが集まる仕組み」があるかどうかです。人口が減ってゆく地域は活気がなくなるばかりか、経済活動を行なうマーケットとしても魅力がないので企業も離れてしまいます。まちとしても所得税などの税収が減り財政的に厳しくなると行政のサービスが行き届かなくなり住みづらいまちとなってしまいます。ひとがいなければまちは歩みを止めてしまい再び歩み出すのは容易ではありません。ひとが減るというのは想像以上にまちにとってダメージが大きいのです。

■人口が増加するまち

ひとが集まることでまちに活気が出るのは想像出来ます。ですが、人口減少の時代にそんなことが可能なのかと疑問視される方もいらっしゃると思います。それを実現しているまちがあり、川崎市と福岡市などでは10年で10%以上増加し、身近では東広島市が8.4%で県内1位の人口増加率です。このように住民はひとが増加する魅力のあるまち、強いまちに集まってゆきます。三原市では県内でも早いスピードで人口減少が進んでおり危機感を市民全体で共有する必要があると思います。今後、人口増減の傾向はますます二極化が進み強いまちと弱いまちの格差が広がると予想されます。

来るひとを集める！

少子高齢化の時代、何もしないと自然とひとは減ります。子育てしやすい、教育環境が優れている、安心・安全で働きやすい、生活が便利、まちのイメージが良いなど、暮らしたい機能を充実させ徐々に外部から住むひとを呼び込むしかありません。そして住んでもらうにはまず「来るひとを増やす」ことです。来るひとを増やすには「遊びに来る、学びに来る、働きに来る」の「遊学働」の施策を強化しまちを知ってもらい、体感してもらうことが重要です。全く知らない土地やまちにいきなり住み着く可能性は低いと思われます。そこでまちの「たから」を磨きしっかりと広報することで来るひとを増やし、まちの活力を高めるべきです。ひとと情報とお金は寂しがり屋なので集まるところにはどんどん集まると言われています。

「おしい！広島県」はなぜ成功したのか

樫野孝人氏が広島県庁の広報総括監に就任され、湯崎英彦広島県知事に県庁の戦略的広報を導入してほしいとミッションが出たそうです。広島県の観光キャンペーンをＰＲするため、観光課で打合せを行なっている間に強力なライバルが登場しました。香川県の「うどん県」です。言葉のスピード感もありネット上のアクセス数は2日間で17万件と爆発的な伸びがありました。考えている方向性が似ていたので先に越されたと樫野氏は思われたようです。新しい広島県の印象を出しても誰も面白がらない。もっと自虐を入れ笑い飛ばしながら宣伝する方が入りやすいとの考えから方向性を変えることはしませんでした。広島県は

●『日本一のレモンの生産地、シェアは57%』……これは広島県のこと。なのに、知らない人が多い。おしい！

●お好み焼き屋の店舗数は日本一なのに、『広島風』と付いてしまう。……おしい！

●万年Bクラス（当時）の広島カープは、いつもおしい！

●日本三大銘醸地の『西条』……灘、伏見と並んであと一つどこ？　といわれてしまう。おしい！

と他にも色々おしいことがあります。「おしい！広島県」というキャッチコピーは語呂、スピード感、音感すべてキレがあり秀逸です。この自虐的な企画を引っ張る象徴的な人物は誰か、広島県出身で毒舌芸人として売っていた有吉弘行氏がベストな人選でした。香川県と同じ方向で一緒に瀬戸内を盛り上げようと協力し連携企画にすることで二番煎じとは違う印象が作れました。こうして発表したプロモーション映像は65万回を超える視聴、ホームページには440万超のアクセスを記録して爆発的な話題を呼び、テレビ、ラジオ、ネットで取り上げた露出の広告換算額は3日間で3億円分の宣伝効果がありました。この効果により広島県は注目を浴び観光が増えひとが集まる強い都市に一歩近づいたのではないでしょうか。

おしい！ 三原タコ

「おしい！広島県」のスピンオフ企画として「おしい！三原タコ」も成功をしています。三原のタコは食感が柔らかく美味しいのですが、知名度は低い・・おしい！とゆうことで、日本一といわれる明石タコに果たし状をつきつけ、テレビ局や新聞各社（19社）の報道陣が詰めかける中、PRを行ないました。日本一には及びませんでしたが、見事日本№2のポジションを獲得し全国に発信しました。県が仕掛けて市が乗っかるという連携が上手くいった好例です。そして全国居酒屋チェーンの「和民」とコラボレーションを行ない首都圏で三原タコがメニュー化されました。こういった取り組みから「ザ！鉄腕！DASH！！」で紹介され三原タコは一時全国区になった瞬間だと思われます。「おしい！広島県」キャンペーンは本来観光キャンペーンです。観光と地元産業は密接に関係し、その底上げや活性化にとても有効です。三原タコがもっと注目され盛り上げてゆくことは、三原の活性化につながります。

三原での活かし方

三原市では前述の通り、日本№2（多少強引さを感じますが）まで上り詰めたタコがあります。その他として

- **日本一の広い天守台をもつ三原城跡**
- **日本一のだるま**
- **世界一の鯉**
- **広島県で一番大きい望遠鏡のある天文台**
- **日本最大規模の岩海**
- **有形無形文化財が270件**
- **阿波踊りに匹敵するやっさ踊り**

など地域の「たから」が多数あります。しかしこの地域の「たから」を住み暮らす私たちが理解し磨いているのでしょうか。樫野氏は新たに地域資源を作るよりも今ある「たから」をしっかりと見つめ磨いてゆくことが、来るひとを増やす近道だといわれていました。地域の「たから」をどのように活用すれば来訪者をおもてなし出来るかを考え、地域独自の観光スポットを創ることが大切だと考えます。三原は観光スポットが点々としてわかりにくく代わり映えがない、これではひとは来ません。地域の「たから」を磨き全国へ発信し、にぎわいのある三原を創りましょう。

三原駅前再開発特集 第二弾！ 駅前東館跡地活用方針（案）について

三原駅前の将来

三原青年会議所では三原駅前について駅前広場単体に何を建てるかではなく、将来の三原駅前全体の姿を考えてまちを構築していく必要があると掲げています。そのような中、駅前東館跡地活用方針（案）が発表され、どのような内容を調査し4月号にて発信を行ないました。今月ではその活用方針（案）の進行状況、他団体や市民の皆様がどう思っているのかを調査しました。皆様のご意見を踏まえて今後の三原駅前について何がベストの選択なのかを考えてゆきたいと思います。

駅前東館跡地の進行状況（4月末時点）

4月23日、駅前東館跡地活用調査特別委員会へ取材を行ないました。まず市から現在の駅前東館跡地活用方針（案）について説明されました。駅前東館跡地は民間での活用を期待していたが、採算が取れる可能性が低いと判断し、そこで公共（図書館案が有力）が一部入り集客の見込みをつければ民間の参入が期待できるとの結論に至り方針（案）が出されています。一部公共施設を含む複合施設が決定されれば、今後の民間事業者の募集・選定スケジュール（案）が三段階に分けて進められるようです。

■第一段階

補正予算の上程、審議を行ない実施の方針を議会にて協議し決定します。（公共施設の内容、募集する民間施設の内容）

■第二段階

決定した実施方針をもとに民間事業者との直接対話や質問の受付等を行ない、募集要項を作成して募集を開始します。

■第三段階

提案を受け付けて審査委員会にて審査します。そして市の求める基準に達すれば契約の締結となります。

以上の段階で行なうには標準的な期間として1年間を見込んでおります。審査委員会は他市で図書館と商業施設で成功を収めている各関係者で構成されることが提案されました。

駅前東館跡地調査特別委員会では図書館建設（案）について様々な議論がされています。

■財政状況について

・今後、様々な大規模事業（H27　約96億円）を抱えているので、駅前東館の跡地は広場での充実を図ってはどうか。

■中心市街地活性化について

・駅前東館跡地に求めるのは外需か内需かが明確に決まっていない。ターゲットを絞る必要がある。
・駅前をおもてなしゾーンと位置づけ、観光のまちを目指しているが、跡地に図書館では関連性がない。
・どのような中心市街地を目指すのかわからない。

■図書館設置について

・図書館でにぎわいと集客の創出が可能なのか。
・図書館と民間施設がどのように構成するのかイメージが湧かない。民間は図書館で参入するのかわからない。
・民間が1社や基準に満たない場合でも採用するのか。

■広場について

・全天候型の屋根やステージを設置すれば、広場の活用が充実する上、費用が抑えられる。

■ホテルについて

・必須項目となっていないが将来の受入先として必要。

市民の皆様は何を求めてる!?

駅前東館跡地に欲しい施設として平成22年2月に市から市民の皆様へアンケート調査を行なっています。

1位：物販店舗（食料品・衣料品・生活用品等）…36%
2位：飲食店舗……31%
3位：娯楽施設……28%
4位：公園・広場……25%
5位：文化・教養施設（図書館・美術館等）……18%

多かった意見から市の提案である図書館を含む複合施設を考えると「複合施設」の部分が市民の皆様の要望に応えた内容に沿ってゆくのかが重要となると思います。

市民のご意見

三原青年会議所でも市民の皆様へご意見を募集しました。頂いたご意見から幾つかご紹介します。

- **これから将来、20代～30代の消費傾向を考えれば、駅前に商業施設はもってのほかだと思います。**
- **三原は観光地として水と要塞の美しい浮城城下町を取り戻して欲しいです。小早川隆景の像も駅裏に押し込まず、駅前広場に置くべきだと思います。**
- **図書館の機能としては、静かに落ち着いて本を読む場所であってほしいです。**
- **駅前広場の活用策ですが、子どもから大人まで楽しく過ごせるような、複合レジャー施設を持ってきて下さい。**
- **ショッピングモールが駅前にドーンとあれば、自然と人が集まります。**
- **4月号を読みましたが、図書館となった場合は静かに落ち着いて本を読む場所であってほしいです。**

引き続き市民の皆様からのご意見を募集しております。三原青年会議所のＨＰへどしどしご意見をお願いします。

駅前について他団体のご意見！

今回は三原の駅前について**広島経済同友会　三原支部支部長 勝村（かつむら）　憲明（のりあき）氏**にお話しを伺いました。

『鯉の城下町』構想

■三原駅前周辺のにぎわい再開発について

三原の水は軟水で非常に良い水です。また、三原には世界一の鯉の生産地があります。世界一のブランドを活かして三原城の堀に鯉を泳がせ観光のスポットを創ります。鯉は海外からも人気で三原にひとが集まるきっかけを作るのです。広島、呉、竹原、尾道に流れている観光ルートの中に三原も加わり、港・駅を活かしたひとの流れを作りだすことでにぎわいを創出します。ひとが集まるようになれば、だるまや瀬戸内の景色、そして近辺の商店が自然と活かせるようになり相乗効果でまちににぎわいが出来てきます。人口が減少する時代、内需だけでは発達しません。

■駅前東館跡地の図書館（案）について

三原は広島と福山の都市に挟まれています。図書館を含めた複合施設を建てて市外からひとが来るでしょうか。今ある図書館を利用者が駅前に移動するだけで何も変わらないことが予測されます。駅前は広場を活用し三原地産の市場を開催した方が市外のひとが集まると思います。

今回の取材を通して

駅前東館跡地の活用方法については多くの意見があります。色々な立場の方が、三原駅前のにぎわいを考え本当に良い活用方法は何かを模索しているように感じました。三原の中心市街地として市民の皆様からも非常に関心のある場所です。しかしながら、現在の活用方針（案）の進捗状況について市からの広報は行なわれてないようです。市民の方々から、三原には市外から迎え入れる観光設備の整備ができていない、娯楽施設がない、独自性がないなど色々な意見を聞きました。また、駅前東館跡地活用のワークショップを行なった結果、図書館というキーワードは出ていなかったとも聞きました。全てのひとの意見を取り入れることは難しく、反対意見も多い中、早急に何か建てなければならないとゆう使命感だけで、公共施設の中で市庁舎の次は図書館とゆう考えで本当に良いのでしょうか。駅前東館跡地活用調査委員会でも市議会議員の方から多くの意見が出ていました。しかし、結論として「公共施設を一部含む複合施設」「駅前は内需向けを基本とし外需には期待しない」とゆう曖昧で将来を期待できるのか疑問が残る内容となっています。希望が持てる駅前となるよう私たち市民が考え提案を続けることが大切だと思います。

本紙やっさもっさは、ここに掲載の企業の協賛で発行しています。

三原の味です名物です
上菓 献錦 ヤッサ饅頭本舗

アイ・ウィル土居写真館　関西通商
アオイ福原㈱　㈲完山商店
㈱赤石硝子建材　やまめる
赤谷木材㈱　㈲共立電機産業
安芸典礼㈲　共和設計
㈲安芸緑化機材　共和不動産
公認会計士浅田勝彦事務所　㈱桐島電気サービス
イオン三原店　牛ちゃん
池田ハルク　久井カントリークラブ
㈱池田電工　㈱倉橋匠栄堂
㈱池田ハルク　グローバルイノベーション㈱
焼き鳥 一　藝陽日日新聞社
いっぱい×いっぱい　井上建設㈱　小泉病院
イノセンス　㈱仁康会
スナック・お好み焼き　いろは　㈱コグマヤ
スナック if　㈱栄不動産
イワク三山陽株式会社上田事業部　㈲コグマヤ
岩西自動車　小松木工㈱
おばんざい印　㈱サービスセンター
㈲上田製版印刷所　㈱阪井養魚場
おばんざいうさぎ　㈱坂元鉄工
㈱ウツミ　㈱笹井産業
㈲中国工業　㈲サツキ工業
宇野税理士事務所　㈲サニー住設
うなッ　㈲サツキ工業
NRK保険事務所　㈲サニグリーン広島三原営業所
㈱エヌワイティグループ　Sarry
㈲エフエム・コーポレーション　三協立山アルミ㈱
大石製作所　三平商事㈱
㈲大石製作所　㈱三陽環境管理㈱
OS　㈱山陽建設㈱
㈲笠下工務店　㈱山陽高速印刷
大下建設　㈲山陽ハム
大東印刷㈱　㈲シー・イー・サプライ
オートドリーム三原　㈱CBテクノロジー
㈱オギロパン　㈱コパグマヤ
奥田自動車ボディー　しまなみ信用金庫
おしゃれ泥棒　㈱創
おしゃれ処　おたふく順　㈱住
旬彩　寺
お茶の平野園　㈱正田文華堂
㈲勝
小野税理士事務所　JIN　㈱仁
㈱マネジメントブレインズ　新宅建設㈱
尾道補聴器センター　㈱スミダ・翼介護サービス
ピアノラウンジ帯　セブン・ラック
㈱カークライムJボディ　セブン・イレブン宮浦北店
㈲笠下工務店　ダイヤモンドゴルフ場
㈲片山自動車工業　㈲タクトコーポレーション
片島税理士事務所　竹本自動車
親切ギフト　かつはら　田中運輸㈱
勝原不動産　㈱田辺澱粉工場
勝村商店　㈲中央地所
勝村木材　㈱中国新聞サービスセンター
レストラン　かねしょう　ちゅーピー保険ショップ
カネダ漢方薬品㈱　椿盛ツバキハウス
㈱カネツナ　お好み焼＆食事処つぼみ
㈱ガルバ興業　三原工場
㈱鶴田電設コンサルタント
寿司・割烹　かわ蝶　㈲河本商店
カクテル&ダイナー　DIJ　狄
くし焼　㈲
ファミリーレストラン太陽閣高須店　㈲寺迫組
ヴォルテール　㈱松尾社会保険社労務士事務所
富屋　㈱三原城町病院
マイエッグ　㈱マミー化粧品
藤井建設　㈱東進衛星予備校三原駅前校
藤原久屋　スナックマリア
㈱トータルサポートTSC　㈲丸源ラーメン
㈱広島電気工事　登喜和　㈲
㈲フォースト　備後国総鎮護　御調八幡宮
㈲野竹電工　㈲三原ターミナルホテル
㈲八天堂　㈲三原タイヤ㈱
㈱原アルミ建材　TORICO　㈲三城商会
M・CAT三原テレビ　富野機工㈱三原営業所
㈱三原美装社　㈱みどり商会
㈲半さん　㈲中川広告
三好印刷　㈲みどり書店
㈱平川ふとん店　㈲中川書店
㈲森　㈲中野産業
平田歯科医院　㈱中野モーター
㈲モリタ美研　三原カンツリークラブ
やっさ石油　㈲中間醸造㈱
㈱三原国際ホテル
㈱まじま製麺　中村電工㈱
益谷建設㈱　㈲みはらし温泉
㈲みはらし代行㈱
浴岩焼き　和（なごみ）　㈱三原シティホテル
㈱ナンバ洋服店　三原重量㈲
なんばレディースクリニック　三原松操
㈱西岡設備　三原末広簡易郵便局
にった文具店　三原総和㈲
㈲野竹電工　㈲三原ターミナルホテル
㈱八天堂　㈲三原タイヤ㈱
㈱原アルミ建材　M・CAT三原テレビ
㈱三原美装社　㈱みどり商会
㈲半さん　㈲中川広告
㈱三好印刷　㈲みどり書店
㈲中川書店
㈲中野産業
㈱中野モーター
㈲中間醸造㈱
㈱三原国際ホテル
中村電工㈱
㈲みはらし温泉
なぎさ医院　内科・皮膚科